

県政報告駅前版 平成30年12月号
千葉県議会議員 総合企画水道常任委員長
小池まさあき



平成31年度予算編成 不足△250億円 空港周辺地域振興には満額を！

12月21日、政府は初めて100兆円を超える歳出総額101兆4,564億円という2019年度の予算を閣議決定しました。これは、今年度より3兆7,437億円多く、消費増税に伴う景気対策が歳出を押し上げている要因ではありますが、今後も社会保障費が伸び続けると予想され、毎年100兆円超の予算編成が続くこととなる見込みです。

県でも予算編成が大詰めとなっていますが、各部局の要求額は今年度より384億円多い1兆7,673億円、これに対して歳入見込額は今年度より151億円の増額を見込み1兆7,440億円で、収支は233億円の不足となっています。

歳入見込額1兆7,440億円－歳出要求額1兆7,673億円＝▲233億円

更に人事委員会勧告に伴う給与改定の17億円を見込むと、現時点の収支見込みは▲250億円です。

これに対して財政当局では、歳入で基金を活用することとし、歳出において事業費の精査を行っています。

私は、財政状況が厳しい中ではありますが、県の発展に資する予算は何としても確保すべきと主張しているところで、特に「成田空港の更なる機能強化」を推し進めるためにも成田空港周辺地域の振興策についての予算は満額確保するように強く訴えています。

騒音による移転補償の対象住戸は1,078戸

本年3月13日に「成田空港の更なる機能強化」が国、県、市町、空港会社NAAで構成される四者協議会で合意されましたが、現在県では空港の拡張を行うための必要な事務的手続きを鋭意進めているところです。

外目にはその進捗が見えにくいとのご意見もありますが、大規模内陸空港における新たな滑走路の建設と

いうことで用地買収、そして工事着工に至るまでには多くの手続きを要し、騒音の影響で移転補償の対象となる住戸が1,078戸にもなるなど、全国にも例のない公共事業を進める上での様々な課題があります。

私からは県に対して、引き続き国とNAAと連携しながら着々と手続きを進め、空港周辺自治体とも常に連携しながら空港と共に発展する“地域づくり”を推進するように強く要請してまいります。

成田空港の更なる機能強化とは

- (1) 空港敷地を1,000ha拡大
- (2) 3,500mの新たな滑走路を整備
- (2) B滑走路を北側に1,000m延伸
- (3) 夜間飛行制限の変更と便数制限を撤廃

空港拡張用地の同意率 1,000haの80%超

「成田空港の更なる機能強化」には、新たに空港用地として1,000haが必要となります。

実際に拡張し空港を拡大させるに当たっては、様々な手続きを要し、用地取得を含めた滑走路の増設・延伸などの事業に着手する前に、航空法に基づく国の許可も得る必要があります。先ずはその要件として用地取得の確実性を示さなければならず、NAAは、拡張用地に係る地権者の「土地売渡同意書」の取得を5月から開始しました。

このうち民有地730haのうち約76%の560haの同意書を10月25日までに取得、公有地をあわせた全体拡張予定面積1,000haに対しては約830haが同意済み、率にして80%超について見通しが立っている状況です。

しかし更にこの同意率を上げていかなければならず、NAAには丁寧に対応していただきながら、地権者のご理解を得られるように引き続き努力して頂き「土地売渡同意書」の取得率を早期に高めるように求めるものです。

今年の風しん関東で5年ぶり大流行 12/16現在 県内368人 市内8人

平成25年に大流行した「風しん」ですが、今年は関東で突出して多く発症、12月初めの全国で2,586人のうち約70%が東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県となっており、千葉県では368人（内成田市8人）の届け出がありました。

特に妊婦（20週頃まで）が感染すると、先天性風しん症候群の子どもが生まれる可能性が高くなるため十分な注意が必要です。

1976年に女子中学生を対象に「風しん」の予防接種が始まり、その後順次拡大、1995年からは男女とも1歳過ぎにワクチンを接種することとなりました。

しかし、1962年4月2日～1979年4月1日までに生まれた男性（現在39歳～56歳）は、集団接種を受けておらず、かつ風しん抗体保有率が低いこと、またこの世代の男性で患者報告数が多いことから、来年4月1日より無料で抗体検査を受けられることとなり、結果が陰性だった場合にはワクチン接種を受けられることとなります。

県においてはこれまでも抗体検査の費用を助成してきていますが、更に12月25日から予防接種費用の一部を助成する事業を開始しました。心当たりの方々には是非抗体検査を受けていただきたいと思います。

風しんとは、

感染経路は飛沫感染で、ヒトからヒトへと感染する。症状は、感染を自覚できない場合から、発熱、発疹、リンパ節腫脹など 重篤な合併症併発まで幅広く、大人は小児より重症化することがある。妊婦が感染すると、難聴、心疾患、白内障、そして精神や身体の発達の遅れ等の先天性風しん症候群の子どもが生まれてくる可能性が高くなる。

「第3次観光立県ちば推進基本計画」(2019～2023)を策定

現在県では、「第3次観光立県ちば推進基本計画」(2019～2023)の策定作業を進め、重点課題として以下4つを掲げています。

- ①地域資源を活用した多様な観光需要への対応
- ②東京オリンピック・パラリンピックの開催効果の活用
- ③成田空港等の交通インフラの積極的な活用
- ④テクノロジー(ICT、AI技術)を活用した生産性の向上

そしてメインスローガンは「繰り返し選ばれる国際観光都市CHIBA」を打ち出しています。

計画の中では具体的な数値目標も設定していますが、観光立県を目指した千葉県として県庁内の全組織を挙げて取り組み、各市町村ともしっかりと連携しながら“観光立県ちば”の実現を図るよう求めてまいります。

ごあいさつ

いよいよ今年も残りわずかとなりました。来年はいよいよ平成の時代から次の時代へと移り変わる年となります。昨今の人口減少、超高齢化は、日本の社会全体に様々な影響を及ぼし、特に地方において今後の持続的発展に危機感が強まっています。

我が千葉県においても同様であり、将来へ向けた政策の立案がますます重要となり、行政と議会がその責任において役割をしっかりと果たしていかなければなりません。

私も任期残り4カ月となりましたが、引き続き千葉県とふるさと成田市の発展、そして新たな時代でも着実に成長できる地域環境を創り上げるように精一杯の努力を傾注してまいります。

引き続きのご指導とご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

千葉県議会議員 小池正昭

小池まさあきの活動ブログ 毎日更新中

小池まさあき 検索

Facebook と Twitter でも情報発信中！ SNS で小池まさあきと交流してみませんか！

事務所 成田市東町155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp